

令和 5 年度目標	評 価 指 標
<p>① 学生支援の充実を図る</p> <p>* 合格率は昨年度を上回ることができた。</p> <p>単位未修得者、再試験実施率は、「0」にすることは出来なかった。再試験を受ける学生が固定されており、今後も学習支援を続けていく必要がある。</p> <p>学年到達目標の平均評価は、3 学年共、ほぼ中間を上回っていた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国家試験合格率 97.2%（前年度を上回る：92.8%）</li> <li>• 単位未修得者(1 年生：1 人 2 年生：4 人)</li> <li>• 再試験実施率（実習除く）：1 年生 49% 2 年生 72%</li> <li>• 学年到達目標の自己・教員最終評価が中間を上回る <ul style="list-style-type: none"> <li>1 年生：15 問（自己評価 1.1 ポイント、教員評価 0.8 ポイント上回っていた）</li> <li>2 年生：13 問（自己評価 0.3 ポイント下回り、教員評価 0.1 上回っていた）</li> <li>3 年生：10 問（自己評価 0.4 ポイント、教員評価 1.0 ポイント上回っていた）</li> </ul> </li> </ul>
<p>② 教育内容の充実を図る</p> <p>* 次年度から全実習が新カリキュラム移行されるため、引き続き要項・評価表の見直しを行う必要がある。</p> <p>教育方法についても、CKS を上手く活用しながら、検討していく必要がある。</p> <p>教育内容の充実に向けた取り組みを継続していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実習要項、評価表の見直しを行う <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1 部見直しができる。</li> </ul> </li> <li>• 新カリにおける新設科目（実習含む）の運用における課題を見出す <ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域・在宅 I 実習後、見直しを行った。</li> </ul> </li> <li>• CKS の活用方法について検討し、次年度につなげる <ul style="list-style-type: none"> <li>* 活用については、アンケート調査を実施したが、活用している学生と活用できていない学生に分かれていた。引き続き、活用できるよう教員間で話し合いを行い、学生に活用を促していく。</li> </ul> </li> <li>• 「専任教員のキャリア別到達目標」が達成できる <ul style="list-style-type: none"> <li>* 評価・活用方法について検討が必要</li> </ul> </li> <li>• 授業・実習後自己評価を実施し、学生評価と共に教員間で話し合う <ul style="list-style-type: none"> <li>* 学生評価は例年通り実施したが、自己評価は実施できなかった。</li> </ul> </li> <li>• 互見授業を実施し（最低 1 人 1 回）し、意見交換する <ul style="list-style-type: none"> <li>* 個別でお願いし授業見学をすることはあったが、全員は出来ていない。</li> </ul> </li> </ul>

<p>③ 学習環境を整備し円滑な学校運営を行う</p> <p>* ほぼ計画通りに実施できた。</p> <p>地域への貢献については、学内行事は実施できたが、今後の検討が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ハラスメントに関するマニュアルの整備、委員会の設置を検討する <ul style="list-style-type: none"> <li>* マニュアルの作成を行い、委員会を設置した。</li> </ul> </li> <li>• ICT の環境を整備する <ul style="list-style-type: none"> <li>* Wi-Fi 環境を充実させた。</li> </ul> </li> <li>• 校舎の老朽化に伴う諸問題に迅速に対応する <ul style="list-style-type: none"> <li>* 適宜、計画的に対応している。</li> </ul> </li> <li>• 会計年度任用職員の業務の見直しを行う <ul style="list-style-type: none"> <li>* 問題があれば、その都度見直しを行っている。</li> </ul> </li> <li>• 地域への貢献を推進する（学校祭やオープンキャンパスなど） <ul style="list-style-type: none"> <li>* 今年度は、学校祭やオープンキャンパスを通常通り実施することができた。</li> </ul> </li> </ul>
<p>④ 働きやすい職場づくりを促進する</p> <p>* 職員間の報連相を徹底し、全員で働きやすい職場づくりに努めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 休憩時間の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 休憩場所を確保したが、現状は活用できていない。</li> </ul> </li> <li>• 年次休暇の取得率が前年度を上回る <ul style="list-style-type: none"> <li>* R5 年度：12 日（R4 年度：9 日）</li> <li>取得率を上回ることができたが、個人差が大きかった（5 日～17 日）</li> </ul> </li> <li>• 超過勤務時間は前年度よりやや下回った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* R5 年度：18 時間 42 分（個人差が大きかった（月 1.6H～42H）</li> <li>（R4 年度：19 時間 51 分）</li> </ul> </li> <li>• 業務の見直しを行う <ul style="list-style-type: none"> <li>* その都度見直しを行っている。</li> </ul> </li> </ul>